

図書館だより

NO. 201 2015年2月号
(2015年2月1日発行)

はつかいち市民図書館
電話(0829)20-0333
廿日市市下平良1-11-1

ホームページ <http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp/>



特別整理期間に伴い、
2月20日(金)～2月26日(木)
の期間を休館いたします。

はつかいち市民図書館では、1年に1度、特別整理期間を設けています。

特別整理期間中は、図書館を休館し、所蔵資料の総点検を行います。書架の全資料のバーコードを読み取って、コンピューターのデータと照らし合わせ、不明になった本や間違った場所に置かれた本がないかチェックする作業です。

休館中にご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

大野図書館 2月12日(木)～19日(木)
さいき図書館 2月23日(月)～27日(金)

《中央展示》

『小学生と友だちになった本たち』

ブックトークボランティア派遣事業』

はつかいち市民図書館では毎年、「ブックトークの会ピッピ」の協力を得て、市内小学校4～6年生を対象に、ボランティア派遣事業を実施しています。

これまでにブックトークで紹介した本を集めて展示しています。

※ブックトークとは…1つのテーマに沿って一定時間内に数冊の本を、複数の聞き手に紹介する読書案内の1つです。



今月の展示

《さくらびあ展示》

『モーツァルトの調べ』



2月28日(土)にさくらびあ小ホールで、「海老澤敏“モーツァルトを語る”2015 in ひろしま」が行われます。この機会にモーツァルトについて、もっと深く知ってみませんか? モーツァルトに関する資料とCDを集めています。

《企画展示》

『Sweet な気持ち贈ります』

チョコレートやお菓子にちなんだ資料や、プレゼント作りに役立つ資料を集めて展示しています。大切な人に気持ちを届けてみませんか。



展示期間：1月23日(金)～2月19日(木)

「子ども司書」 おすすめ本 展示コーナー ができました！



はつかいち市民図書館のヤングコーナーに、新しく「子ども司書」おすすめ本コーナーができました。

展示している本は、今年度の子ども司書たちが読んで選んだ本です。「日本十進分類法の5種類以上を2冊以上読む」という条件の中で選んだ本なので、幅広い内容の本が集まっています。

展示期間は今年12月末までの予定です。子ども司書手作りのPOP（本を紹介するカード）と併せて、ぜひこれから読む本の参考にしてみてください。

子ども司書とは

読書の楽しさ・大切さを
学校や地域で広める、
読書活動のリーダーとなる
子どもたちです。

*** 今月の新刊(一般書) ***

図書館には1カ月に約500冊の新刊が入ります。その一部を紹介します。

- 『戦争よりも本がいい』池内紀/著 講談社 019.9/1
- 『日本の神社完全名鑑』かみゆ歴史編集部/編 廣済堂出版 175.9/ニ
- 『日本—喪失と再起の物語』上・下 デイヴィッド・ビリング/著 早川書房 210.7/ヒ
- 『はじめての保育園』保育園を考える親の会/編 主婦と生活社 369.4/ハ
- 『押す・もむ・さするツボ&マッサージ』吉川信/監修 朝日新聞出版 492.7/オ
- 『今日から歩ける！超入門山城へGO!』荻原さちこ/他著 学研パブリッシング 521.8/ハ
- 『おもち』入江亮子/監修・料理 成美堂出版 596.3/オ
- 『大家さんのためのアパート・マンション経営の資金と税金でトクする法』
富山さつき/著 日本実業出版社 673.9/ト
- 『親子でつくるてづくりおもちゃ』イシグロフミカ/著 講談社 750/1
- 『Max3語で伝わる英文法』恵島聖/著 ブイツーソリューション 837.8/エ
- 『死ぬってどういうことですか?』瀬戸内寂聴/他著 KADOKAWA 914.6/セ
- 『九年前の祈り』小野正嗣/著 講談社 F/オ
- 『悲嘆の門』上・下 宮部みゆき/著 毎日新聞社 F/ミ
- 『白鶴ノ紅』佐伯泰英/著 双葉社 BF/サ





新刊

こどものほん



『珍獣図鑑』

成島悦雄/文 北村直子/絵 ハッピーオウル社 489/ナ
地球上には、私たちと同じ哺乳類が5千種以上もいます。この本では哺乳類のあっと驚く体の不思議をわかりやすくイラストで紹介しています。

例えば、首が長いキリンは、頭まで血液を送るのが大変なため高血圧だとか、ウサギは栄養たっぷりのフンを出し、それを再び食べ、一日中フンをして、食べてを繰り返す生活をしているなど。また、もともと5本指だった哺乳類がなぜ、ウマのように1本やサイのように3本に変化したのかなど、進化のヒミツもわかります。

『しもばしら』

細島雅代/写真 伊地知英信/文 岩崎書店 451/ホ
ある寒い冬の朝、しもばしらが出た！ 地面の上の小さな氷の粒が、しもばしらのあかちゃん。それが、によきによき伸びて立っていく。日かげより、日なたの方がたくさん立つのはなぜ？ 土の中の水分の多さや、急に冷えたかゆっこりだったかで、いろいろな姿になるしもばしらを写真で紹介している。巻末には、しもばしらを作る実験と解説がある。



その他の新刊

『新聞は、あなたと世界をつなぐ窓-NIE 教育に新聞を-』 木村葉子/著 汐文社 070/キ

『ふたりのエアリエル』 ノエル・ストレートフィールド/著 中村妙子/訳 教文館 933/入



ブックスタート ボランティア募集！



ブックスタートは、赤ちゃんと保護者に絵本を開く楽しい体験といっしょに絵本を手渡し、心ふれあうひとときを持つきっかけをつくる活動です。廿日市地区の4カ月児健康診査の際に行っているブックスタートにご協力していただけるボランティアを募集しています。

場 所：あいプラザ 1階多目的ホール
日 時：毎月2回 水・木曜日
(月により日にちは異なります)
12:50~2 時間程度

月に1回でも、年に数回でも自分のペースで参加していただけます。興味のある方はぜひ見学にお越しください！

健診の待ち時間を利用して、ブックスタートボランティアが親子に読み聞かせをします。赤ちゃんでも絵本を楽しむことができる様子を保護者に見てもらえるように2人一組で行うのが理想ですが、人数が足りないためボランティア1人でも対応しているのが現状です。多くの方の参加をお待ちしています！



ブックスタート当日の流れ



- ◆12:50 集合
- ◆12:50~1:15 会場準備手伝いなどミーティング
- ◆13:15~ 健診の待ち時間にブックスタートの絵本の読み聞かせ開始
- ◆14:30~15:00 終了予定時間
当日の状況により終了時間は異なります。



上のお子さんが来ている時は保護者が健診に専念できるように一緒に遊んでサポートしたり、「地域で子育てを応援していますよ」という、温かなメッセージが伝わるようにしています。

ブックスタート担当：松浦、安達、石井

返し忘れていた本はありませんか？

ご自宅や、職場、学校、自動車等に返し忘れていた図書館の本がありましたら、特別整理期間前にご返却をお願いいたします。

特別整理期間では、所蔵資料の総点検を行います。棚にある資料とコンピューターのデータが一致しなければ、「不明資料」となってしまいます。

「不明資料」は誰も利用することができません。また、返却期限を過ぎても返却してもらえない場合も同様です。

図書館の本はみんなものです。自分が読みたいと思った本は、他の人も読みたいかもしれません。

読みたい本があって図書館に来たのに、誰かがその本を無断で持ち帰っていたり、ずっと借り続けていたら、どう思いますか？

誰もが気持ちよく使える図書館となるよう、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



2月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6 ◎	7
8	9	10	11	12	13	14 ★
15	16	17	18	19	20 休館	21 休館
22 休館	23 休館	24 休館	25 休館	26 休館	27	28 ★

◎ちいさいこのためのおはなし会

【対象】乳幼児

【時間】1回目 11時～

2回目 11時30分～

※相談窓口で整理券をお渡ししています。
カウンターにお問い合わせください。

★おはなし会

【対象】幼児～小学校低学年

【時間】11時～

※場所はいずれも図書館会議室です。

※特別整理期間に伴い、2月20日(金)～26日(木)の期間を休館します。